

「平成16年7月福井豪雨」に関する新聞記事(抜粋)

(平成16年7月19日～8月22日)

## (1) 記事



# 復興へ一丸

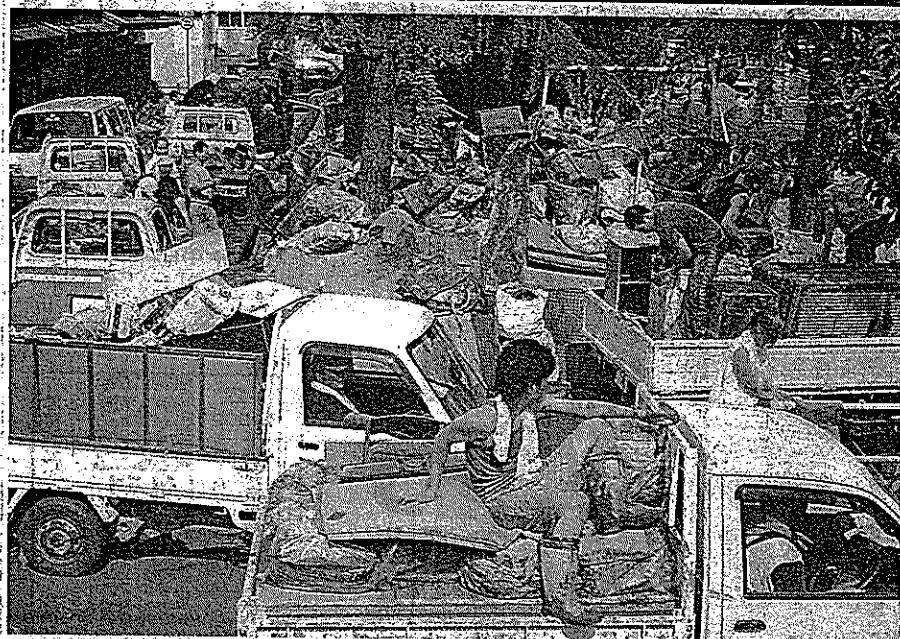
## ごみ処理協力呼び掛け

### 分別は不要、無料

#### 重点地区から順次

福井市

福井市は十九日、今回の水害に伴い発生したごみの処理計画を発表し、市民に協力をお願いしている。(太田 貫市)



多くの使えなくなった家財道具が持ち込まれるごみ置き場。19日午後3時7分、福井市木田町で(逆見寺宏法撮影)

「被災地受け入れる、分別は不要、処分料も無料。持ち込みが困難な場合は、最寄りの公園へ搬出すれば市が処分する。一般には二十日まで」

### 全堤防早急に調査

#### 足羽川 当面は応急処置

知事会見

西川一誠知事は十九日、県庁で開かれた県の第六回災害対策本部会議の終了後に会見し、足羽川の上すべての堤防に対して、早急に調査する考えを示した。



「ミニラン」復旧に全力をかける足羽川一誠知事。19日午前7時、県庁で(太田貫市撮影)

被災者の払い戻し、適切な措置を要請。金融機関など。被災者に対する金庫上の措置を適切に講じよとの要請も求められている。

「足羽川は、決壊箇所は、当面は、決壊箇所、体のチェックを早急への応急処置を要する必要がある」と述べた。

農作物被害対策、相談窓口を設置。農林事務所。被災者に対する被害調査、農家との関係機関に農地の排水の徹底などを呼び掛けた。

「水稲、もち病を防止し、病害虫の防除に努める。刈り取り前に品質を確保し、品質が悪化した所は分け処理する。大豆、粟土による新株の発生や過肥による生育の回復を図る。」

平成16年7月20日 福井県民新聞



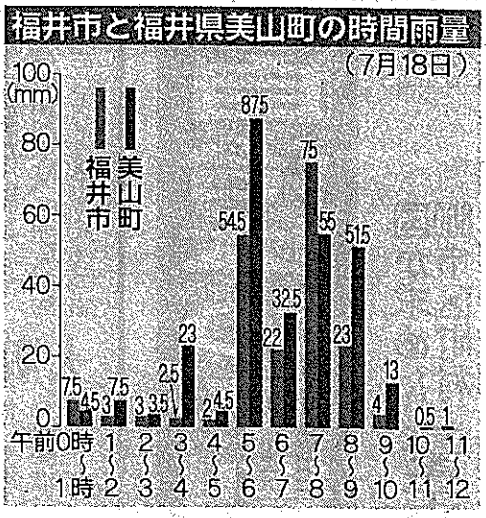


# 福井市豪雨

福井市など3市3町で、午後3時現在978人がいたが、住民らは道路や避難。停電は美山町全域。福井市や池田町の一部で計1500世帯に上っている。特に美山町では水道、下水道を含めたライフラインが遮断されたまま。また、県は福井市など5市町に国から災害救助法の適用を受けることを決めた。

同県北部では午前6時10分にすべての気象警報が解除され、福井市の市「兵頭和行、佐藤孝治

福井県北部は豪雨から一夜明けた19日、被害の報告が急増した。県災害対策本部によると、堤防の決壊が5河川11カ所▽がけ崩れや土石流などの土砂災害が25カ所▽住宅全壊39、半壊99▽床上・床下浸水1万1000世帯など。死者は3人、行方不明は2人。JR越美北線は足羽川に架かる鉄橋の流失が6橋となった。20日は小中学校の終業式だが、福井、鯖江市や美山町の8校で休校する。



# 4時間で1カ月分



足羽川のはらんで冠水した家屋から家財道具を運び出す住民たち  
—福井県美山町で19日午後2時55分、本社ヘリから西村剛写す

# 30年に1度新潟と同型

福井市周辺で18日降った猛烈な雨は、わずか4時間で1カ月分の雨量を越す勢いだ。福井市で1977年7月の月間雨量は、平均56.6mm(最高87mm)が少なかったが、18日、5mmを記録した。時間雨量は、午前5時8mm、昨年は270.5mmだった。今月前半は降水量が集中したことになった。福井市でも同様の1日だけで同市周辺で、雨前線の活動が活発化されたためと説明。福井地方は、今週前半まで天気が入り込んだうえに、梅雨明けの見通しは立っていない。【佐竹義浩】

平成16年7月20日 朝刊  
毎日新聞

気象予報士の森田正光さんは「典型的な梅雨の終わりの集中豪雨。北陸側では30年に1度くらいはこの規模で起きている。空梅雨の年は大雨が降るとされ、今後警戒が必要だ」と分析する。河田恵昭・京都大巨大災害研究センター長は「梅雨末期の水害はどこでも起こる。昨年同時期に九州で起きるなど、このところ毎年どこかで起きている。新潟と福井の豪雨も現象としては同じ」と指摘。「こうしたパターンは全国どこでも起ころうと思っても不思議ではない。『自分たちでも起こり得る』と考え、備えることが必要だ」と話している。【伊地知克介】